

「学校と地域・企業等をつなぐキャリア教育研修会」(西北地区)

令和5年11月7日(火) 13:30~16:00 鱈ヶ沢町立鱈ヶ沢中学校 参加者数40人(職業人講師含む)

1 趣旨

地域の子どものための望ましい職業観や人生観を育むためのキャリア教育推進に向けて、研修会参加者がキャリアセミナーの運営方法を学ぶとともに、学校・地域住民・企業・NPO・各種団体等の関係者が一堂に会し意見交換することで相互の役割等についての理解を深め、関係を築く機会とする。

2 内容

(1)【働く人との対話集会】(13:30~15:10)

「働く人との対話集会」は、鱈ヶ沢町立鱈ヶ沢中学校、つがる市立稲垣中学校、深浦町立大戸瀬中学校の3校合同で開催しました。3校の2年生からのリクエストに応じた16人(14職種)の職業人講師を招き、仕事を選んだ動機や仕事をしていく上で大事なことなどを生徒たちにお話しいただきました。

体育館や特別教室に分かれてブースを設置し、20分×3セットで行いました。オンラインブースでは、ビデオ会議システムを用いて、東京の講師と対話することができました。

生徒は、講師の話に耳を傾け、インタビュータイムでは積極的に質問する様子が見られました。研修会参加者は、生徒たちが対話している様子を見ながら、一緒に職業人講師の話に聞き入っていました。



<研修会参加者アンケートより>

- ・子ども達が普段出会うことのない業種の方と直接話をできて、良い刺激になったと思いました。
- ・職業人から話を聞いたり、疑問点を質問したりすることによって、職業を知り、選択の幅が広がる。そういう意味では貴重な機会と言えると思いました。
- ・生徒は社会の実体験を聞くことができる良い機会となり、私のような民間企業にとっても良いPRになるので、とても良い取り組みだと思いました。

(2)【関係者意見交換会】(15:20~16:00)

本研修会コーディネーターである認定NPO法人ハーベスト代表理事 山崎賢治氏より、「関係者意見交換会」のねらいなどについての説明後、グループに分かれて「次年度以降も『働く人との対話集会』を実施するためには」というテーマで話し合いました。

今日の対話集会の良かった点、改善できる点、次年度関わることができそうな点などについて、各グループでいろいろな立場から意見交換をすることができました。

<研修会参加者アンケートより>

- ・グループの方々からいろいろな意見を聞き、参考になりました。また楽しい交流会となりました。
- ・講師・関係者の皆さんとの交流会を通して、とても貴重な経験をさせていただきました。とても充実した時間をありがとうございました。



3 まとめ

「働く人との対話集会」を終えた生徒たちの振り返りシートには、「これからの生活を大切に、今私ができる精一杯の勉強をして自分の選択肢を広げていきたいと思いました。」「たくさん悩んで、夢や目標に向かっていきたいです。」など、多くのプラス思考な意見が出されていました。「関係者意見交換会」では、いろいろな意見やアイデアが出され、キャリア教育の重要性を再認識する機会となりました。

今後に向け、学校と地域・企業等がつながる機会が増えることにより、地域に根ざしたキャリア教育の充実につながることが期待されています。